

オピオイド使用時に注意すべき薬物相互作用

薬物投与に伴って予想外の反応が出現した際には常に薬物相互作用を疑う必要がある。主要なオピオイド製剤との間で注意すべき相互作用がある薬物を一覧にした。詳細については、各薬剤の添付文書での確認をすること。

■ 主なオピオイドの相互作用

併用薬	主なオピオイド	モルヒネ	オキシコドン	フェンタニル	タベンタドール	ヒドロモルフォン	メサドン	主な機序と予測される臨床症状
中枢神経抑制剤 ・フェノチアジン誘導体（クロルプロマジンなど） ・バルビツール酸誘導体（フェノバルなど）		+	+	+	+	+	+	中枢神経抑制作用の増強（傾眠・呼吸抑制など）
抗コリン作用を有する薬剤（別表）		+	+	+	+	+	+	抗コリン作用の増強（麻痺性イレウス、尿閉など）
麻薬性拮抗性鎮痛薬 ・ブプレノルフィン・ペンタゾシン		+	+	+	+	+	+	μオピオイド受容体の部分作用によるオピオイドの効果減弱
クマリン系抗凝固剤 ・ワーファリン		+	+			+		PT-INR延長（機序不明）
CYP3A4阻害作用を有する薬剤 ・トリアゾール系抗真菌薬（ポリコナゾール、イトラコナゾール、フルコナゾール） ・リトナビル（抗レトロウイルス薬） ・クラリスロマイシン ・抗不整脈薬（アミオダロン・ジルチアゼム）など			+	+			+	オピオイド肝代謝阻害によるオピオイド作用増強
CYP3A4作用作用を有する薬剤 ・リファンピシン ・カルバマゼピン、フェニトインなど			+	+			+	オピオイド肝代謝誘導によるオピオイド作用減弱
SSRI（パロキセチン、フルボキサミン） SNRI（デュロキセチン、ミルナシブラン） MAO阻害剤（セレギレン、ラサギリンなど）				+	+		+	中枢セロトニン濃度上昇によるセロトニン症候群
ジドブジン（抗HIVウイルス剤 レトロビル®）		+					+	ジドブジンの作用増強
プロベネシド（抗痛風薬）					+			グルコロン酸抱合阻害作用によるオピオイドの作用増強
QT延長を起こす薬剤 ・抗不整脈薬、抗精神病薬など							+	QT延長を増長し不整脈を誘発
低カリウムを起こす薬剤 ・利尿薬、ステロイドなど							+	低カリウム血症による不整脈誘発

■ 参考 ■ 抗コリン作用を示す主な薬物

薬効分類	薬物名（商品名）
鎮痙薬	プロバンテリン臭化物（プロ・バンサイン）、ブチルスコポラミン臭化物（アスコパン）、メベンゾラート臭化物（トランコロン）、ブリアフィニウム臭化物（バドリン）、アトロピン硫酸塩水和物、スコポラミン臭化物水素酸塩水和物（ハイスコ）など
抗パーキンソン病薬	トリヘキシフェニジル塩酸塩（アーテン）、ピベリデン（アネキトン）、ピロヘプチン塩酸塩（トリモール）、マザチコール（ペントナ）、プロフェナミン（パーキン）、メチキセン塩酸塩（コリンホール）など
抗アレルギー薬	ジフェンヒドラミン（レスタミン）、クレマスチンフマル酸塩（タベジール）、α-クロルファンラミンマレイン酸（ポララミン）、プロメタジン塩酸塩（ビレチア）
気管支拡張薬（吸入）	イプラトロピウム臭化物水和物（アトロVENT）、臭化オキシトロピウム（テルシガン）
抗精神病薬	クロルプロマジン塩酸塩（ウインタミン）、レボメプロマジン（ヒルナミン）、オランザピン（ジプレキサ）、クロザピン（クロザリル）、ゾテピン（ロドピン）など
三環系抗うつ薬	アミトリプチリン塩酸塩（トリプタノール）、イミプラミン塩酸塩（トフラニール）、クロミプラミン塩酸塩（アナフラニール）、ノルトリプチリン塩酸塩（ノリトレン）、アモキサピン（アモキササン）
消化性潰瘍治療薬	ピレンゼピン塩酸塩水和物（ガストロゼピン）
抗不整脈薬	ジソピラミド（リスモダン）
散瞳薬	トロピカミド（ミドリンM）、シクロペントラート（サイプレジン）
子宮収縮抑制薬	ピベリドレート塩酸塩（ダクテル）
頻尿治療薬	プロピベリン（バップフォー）、オキシブチニン（ボラキス）

NSAIDs使用時に注意すべき薬物相互作用

■主なNSAIDsの相互作用

主なNSAIDs 併用薬	セレコ キシブ	メロキ シカム	ロキソブ ロフェン	イブプロ フェン	フルルビブ ロフェン	ジクロ フェナク	ナプロ キセン	主な機序と 予測される臨床症状
ワーファリン	+	+	+	+	+	+	+	CYP2C9の競合阻害によるプロトロンビン時間の延長
メトトレキセート		+	+	+	+	+	+	腎臓におけるプロスタグランジン合成阻害によるメトトレキセートの作用増強
ACE阻害薬/アンジオテンシンII受容体拮抗薬	+	+	+	+		+	+	腎臓におけるプロスタグランジン合成阻害による降圧効果を減弱
ループ利尿薬/サイアザイド系利尿薬	+	+	+	+	+	+	+	腎臓におけるプロスタグランジン合成阻害による降圧効果を減弱
ジゴキシン						+		腎臓におけるプロスタグランジン合成阻害によるジゴキシンの作用増強
SU薬		+	+	+			+	血中蛋白の結合抑制による血糖降下作用の増強
ニューキノロン系抗菌薬			+	+	+	+	+	脳内のGABAの受容体結合の阻害による痙攣誘発
ベメトレキセド (アリムタ®)	+	+	+	+	+	+	+	腎臓におけるプロスタグランジン合成阻害によるベメトレキセドの作用増強
抗凝固薬/抗血小板薬	+	+	+	+		+	+	血小板凝集阻害のため出血の危険性の増大
SSRI	+	+		+		+		血小板凝集阻害のため出血の危険性の増大
CYP2C9を阻害する薬剤 (フルコナゾール、ポリコナゾール)	+			+	+	+		CYP2C9の代謝阻害によるNSAIDsの作用増強

「がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン 2020年版」 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会
ガイドライン統括委員会 編集 金原出版株式会社 より一部抜粋・改変